

はしがき

「人前で（政治や行政について）まじめな話をするのはちょっと苦手、照れくさい」と思っている人は多いのではないだろうか。本書は、そのような人にこそ手に取ってほしい。

なぜなら、人前でまじめな話を普段していない人であっても、場さえあれば自分の考えをしつかりと話せること、そのような人は、飾らない言葉で率直かつ建設的に議論できることを、これまでの経験から私は知っているからだ。

本書では、「無作為抽出」「くじ引き」「抽選」という言葉を多用している。偶然当たった人に集まってもらい、地域課題について話し合ったり行政事業を評価してもらったりする。その意見や評価が行政に反映される。このようなことが、いま全国各地で行われている。

私が所属する政策シンクタンク「構想日本」では、「事業仕分け」や「住民協議会」など、無作為抽出「くじ引き」の手法を活用した試みを「自分ごと化会議」と名付け、全国に広げる活動をしている。従来行政が行ってきた「公募」や「指名」では見られなかったような、政治・行政との縁が少なかった人や、自分が住むまちのことについて考える機会のなかった人などが参加できる場づくりを行っている。

それによって、参加者の多くに、まちのことや社会のことが「自分ごと化」されるといふ変化が起きることがわかってきた（「自分ごと化会議」はすでに一五〇回以上開催し、抽選に当たって参加した人の総数は一万人を超える）。

なぜ「自分ごと化」が必要なのだろうか？ 日本や世界の歴史を振り返ると見えてくる。

政治・行政がうまく回っているときは任せっぱなしになりやすい（「他人ごと」になる）。任せっぱなしにすると任せられた側（政治・行政）は、ある程度、自分の都合で回していく。次第に、既得権、前例踏襲が強くなり、行政や財政の肥大化を招いて無駄が増える。

国民は自分の財布でないこともあり財政悪化の実感がなく、任せっぱなしのままになる。すると、政治・行政は、社会の変化や新しい行政ニーズ、国民の要望に対応できなくなり、政治・行政への批判が起きる。そうなると、政治家、公務員が内向きになっていく。

その結果、経済の悪化、財政破綻、治安悪化などの形で顕在化する。「他人ごと」でいることのツケは、結局私たち国民に返ってくる。だから「自分ごと化」が必要なのだ。

自分ごととしてまちのあり方を市民が考え決めることは「民主主義」そのものだ。民主主義は、国民・市民が直接意思決定をするか、性別や財産などで制限されない普通選挙で選ばれた代表を通じて、

意思決定をし、かつ国民・市民としての義務を果たす統治形態をいう。

その民主主義が機能していないと言われて久しい。民主主義のしくみはできていても、実質的に国のあり方を国民・市民が決められる環境になっていないと、多くの国民が思っているのだろう。ただ、批判だけでは何も変わらない。主権者である私たちが選んだ者によって政治が行われている（間接民主制）ので、民主主義が機能していないことを批判するのは、天に唾していることになる。

そこで、別な形で民主主義を進めようと考えたのが「くじ引き民主主義」だ。「自分ごと化会議」の考え方（無作為抽出＝くじ引きで選ばれた市民による対話によって行政に反映させる）は「くじ引き民主主義」の実践例の一つなのだ。

本書では、私自身が深くかかわってきた各地の事例をもとに、様々な角度から「くじ引き民主主義」という考え方を紹介している。

くじで選ばれた参加者のふとした一言や素朴な疑問は、政治や行政の「当たり前」を軽々と超えていき、目を開かれる瞬間がある。参加者は皆、特別な人たちではない、「抽選で当たったので何となく来てみた」人たちなのだ。

このような、多様で「普通の」市民から出発するまちづくりについて多くの事例を書いているので、

政治や行政の関係者はもちろん、例えば輪番で自治会の役員にあたっているような人、さらには高校生、大学生など、幅広い市民に手に取ってほしい。そして一人でも多くの人々に政治や行政を「自分ごと化」してほしいと思う。

二〇二一年一月

伊藤 伸

目次

1	「くじ引き（抽選）」「でまちづくり」に参加する	1
2	「無作為抽出」⇔「くじ引き」の手法で若者と女性の力を引き出す	10
3	多彩に進化し続ける「事業仕分け」	19
4	事業仕分けではどんな議論をしているのか？	33
5	実践①…住民協議会の元祖、大刀洗町	43
6	実践②…三木町の「百眼百考会議」 ——行政の計画策定を自分ごと化する	52
7	実践③…全国初。議会主催の自分ごと化会議 ——岡山県新庄村	61
8	実践④…住民参加で公共施設を見直す ——香川県高松市	70
9	実践⑤…住民が主催！ 「自分ごと化会議 in 松江」 ——原発を自分ごと化する	79
10	実践⑥…「オンライン自分ごと化会議」 ——市民対話は距離の壁を超えられる	90
11	行政と市民のいい関係をつくるには	104

12 「公益性」を考える

111

13 「JUDGE IT!」

——発見がある！ 楽しめる！
国の事業の検索サイト

120

14 「ふるさと住民票」の提案

——自治体と住民の新しい関係

130

15 「くぐり引き民主主義」、世界の試み

139

あとがき

コラム

対話の質を高める「コーディネーター」という仕事

98